



6月15日(日) 10:00~11:30 赤羽文化センター第1学習室において、6月例会・手話学習会「手話の楽しさと特徴を知ろう②」を開催しました。講師は手話通訳士の中村みずほ氏で、会員28名、非会員2名、合わせて30名の方にご参加いただきました。

### ★今回の学習内容★

#### 1. 手話単語を増やしましょう

人差し指・中指2本で表す手話を考える。片手だけでなく両手2本で表す手話もOK。

例「橋」・「ニュース」・「会社」・「とんぼ」・「沖縄」・「斎藤」etc



#### 2. 1で考えた手話単語を使って短文を作りましょう

例「一昨日、ニュースを大阪で見ました」・「明後日、北海道にボランティアに行きます」

#### 3. 表現を工夫して例文練習しましょう 手話単語を位置や動作の方向、速度、強弱、顔や体の表情などを工夫し、手話の特徴である「具体的な表現」を心掛けるとよりわかりやすくなる。

- ① 有名なケーキ店はいつも長蛇の列です。
- ② 小学校の校庭に1年生から6年生まできちんと整列しています。
- ③ 東京マラソンのスタート位置では選手が並んで待機しています。
- ④ 大勢の人からじろじろ見られて恥ずかしかった。
- ⑤ 電車で向いの人と偶然目が合ったら、高校時代の同級生でした。

#### 4. 会話練習

相手に正しく伝えるために、表現を工夫しながらコミュニケーションしよう。



※ お断り…使用した画像は5月例会時の様子です。



### コミ男とモア子のしゅわ談義



コミ男： 例会が手話の学習だと参加者が多いですね。

モア子： そうですね。手話ができれば、「聞こえ」に困っている人に大切な情報を伝えることができるからではないでしょうか。手話が人と人をつなぐ架け橋になっていると思います。

コミ男： はい。例会の3日後の6月18日に「手話施策推進法案」が可決、即日施行されました。手話のさらなる普及を期待したいですね。